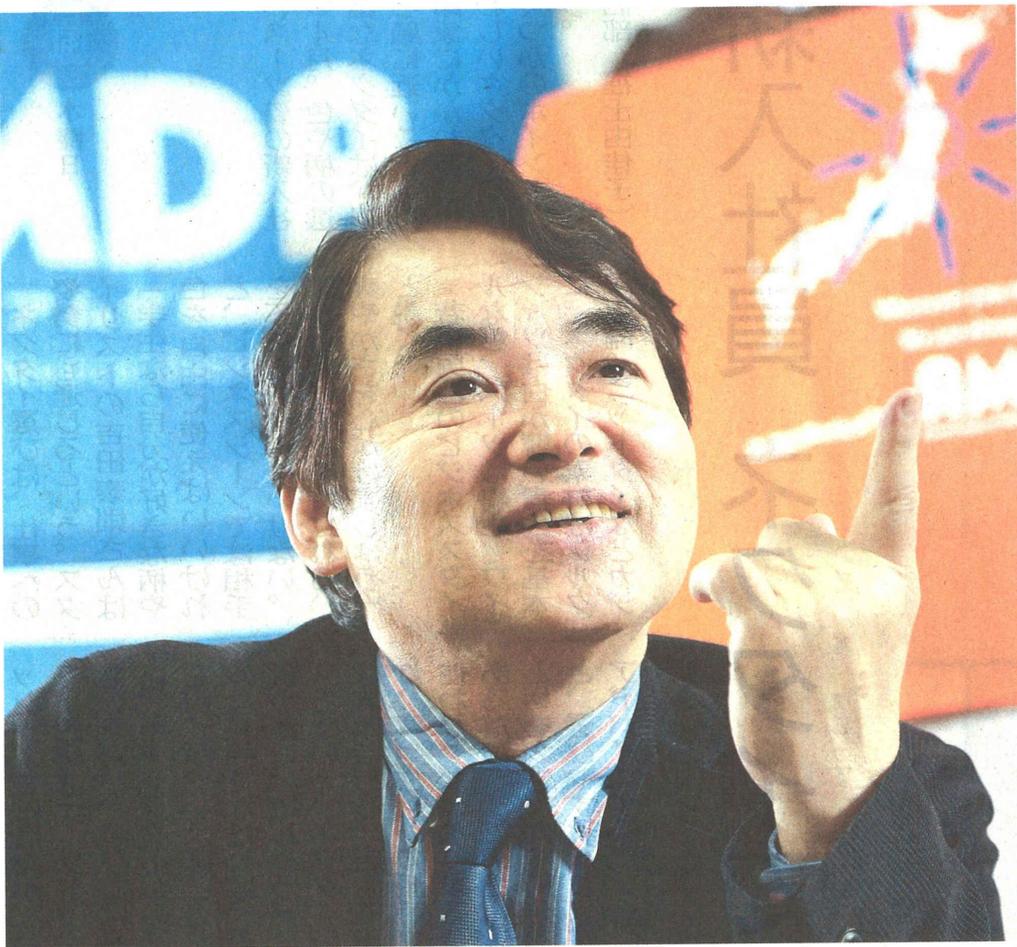


# 医療の相互扶助 提唱

## AMDAグループ代表 菅波 茂さん 70



守屋由子撮影

「救える命があればどこへでも」をスローガンに活動する国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市)。約30年前に創立し、グループ代表を務める医師、菅波茂さん(70)は、支援する側、される側が対等な関係を築く「開かれた相互扶助」を提唱する。

「援助を受ける側にもプライドがある」という視点が、民族や宗教、文化を超えた活動を可能にするという。(生活教育部 辻本洋子)

AMDA(アジア医師連絡協議会、The Association of Medical Doctors of Asia)グループの海外支部は32か所に広がる。2014年からクララルンプールに拠点を置き、1年の3分の2をマレーシアで過ごしている。

「世界各地で人材を育て、災害が起きた国や近隣国の仲間がすぐに緊急医療支援をできる態勢を作りたい。若い仲間を増やすため、各国の大学や病院に他国の医学生の実習を受け入れてもらってプロジェクトを進めています」

当初は「こんなに大きな活動になるとは思ってもいなかった」と振り返る。岡山大の医学生だった1971年、邦楽サークルでアジア各地での演奏旅行を企画。タイの知人から演奏場所を紹介する代わりに農場での寄生虫検査を依頼された。行くと喜ばれ、毎年続けた。やがて、カンボジア

の内戦が深刻化した。「役に立ちたい」と仲間3人で難民キャンプに行きましたが、実績のない我々は何もさせてもらえなかった。それなら実績を積み、話し合いました」

80年に国内の医学生ら29人でアジア医学生連絡協議会、84年に医師ら37人でアジア医師連絡協議会を設立。AMDAグループをつくり、国内外の医師や看護師ら医療従事者約600人が活動している。

岡山市で医師として働きながら、ネパールやカンボジアでの地域保健医療活動、ソマリア難民救援などに取り組み、95年の阪神大震災で緊急医療支援を本格的に始めた。

「被害の大きさに驚き、その日のうちに神戸入りし、簡易診療所を作って1か月間、医師ら延べ約300人が交代で診察などをして

## 支援する側、される側 対等な関係を

ました。コンクリートの床に寝袋という状態で、3日間が限度。寝る場所と食料、医薬品がないと、力を十分に発揮できないと骨身に染みしました」

同年5月のロシア・サハリン大地震では、いち早く現地に入ったが、「医者も薬もある。日本の援助は必要ない」と断られた。そこで、「1月に我が国で震災があった時、あなたの国は助けてくれた。だから今度はお役に立ちたい」と言う。最も被害のひどい所へ連れて行ってくれた。

「援助を受ける側にもプライドがある。相互扶助は、支援を受ける側が一番納得できる考え方だとわかりました。それからは、『今はあなた方が困っているから支援する。今度、日本が被災したら助けてください』などと、支援する理由を説明しています」

緊急医療支援は短期間で終わるのが通常だが、2011年の東日本大震災では「あまりに被害が大きく、長期的な支援が必要」と岩手県大槌町に健康サポートセンターを開設した。

「次に災害が起きた時、

東北の人に力を貸してもらいたいという願いもあります。避難所生活のノウハウを生活リーダーとして教えてほしい。経験ほど強く、説得力のあるものはありません」

これまでに59か国で180件を超える支援を行ったが、紛争や災害が起きた後の活動だった。「もつと準備しておけばよかったです。何度も悔いた」と言い、近い将来、大きな被害が想定される南海トラフ地震への対策に力を入れる。

「高知県や徳島県、銀行などと医療支援協定を結び、受け入れの医療機関や緊急融資の態勢を整えました。国内だけで対応しきれないと予想されるので、1月にジュネーブの国連機関を訪問して医療支援などの協力を要請したところですよ」

年間活動費約1億4000万円は主に賛助会員や一般からの寄付金で賄う。

「活動が知られることで寄付が集まり、赤字にはならないが赤字にもならず、活動を続けられています。誰にでも人の役に立ちたいという気持ちがある。この気持ちの前には、民族や宗教の違いは関係ありません。立場を超えた『開かれた相互扶助』を、世界に広げていきたいですね」

### 取材後記

長年、災害などがあるたびに海外へ支援に行く生活を続けてきた。2010年に経営を移譲するまで岡山市の病院を守ったのは、学生時代から共に活動してきた妻で、医師の知子さん。子育ても任せきりで、2人は医師に、1人は建築士になった。「女房には感謝し

紛争地帯や被災地で不条理な現場を見続けてきた。「日々のささやかな出来事にも喜びたい。人の喜びも自分の喜びにする、そんな強欲な生き方をしたい」。実に奥深い言葉だった。

2017.4.12 水

ふじみ御前

ふじみ御前はどんな妖怪?  
年をとらず、死ぬこともないよ

ふろ(う)ふし  
ふしよう(ふ)しよう

正解はどっち?

©L5/NPA THE YOMIURI SHIMBUN

すがなみ・しげる 1946年、広島県生まれ。岡山大医学部を卒業後、81年に内科医院を開業。医師として働く傍ら、緊急医療支援活動に取り組み、2013年から現職。1995年に読売国際協力賞、2003年に吉川英治文化賞を受賞。